

宮坂千吉 みやさか ちよきち 歌人。明治十八年九月一日長野縣小縣郡縣村生れ、
昭和二十年八月(二十)二日没(二八五—九五)。本名常。小學校卒業後新
聞記者、町會議員、助役、町長と務めた。島崎藤村の「千曲川旅情の
歌」建碑の盡力。また藤村庵の管理に當り、小諸城址の保存に努めた。
短歌は初の香山牧水と交はると、のち太田水穂の門に入り、潮音社幹
部同人、顧問となる。

歌集「千曲川」(昭和二十一年十月十五日長野・高嶺書房「信濃短
歌叢書」)。『鐘』(昭和二十二年五月十日歌集『鐘』刊行會)等。